



官本明登撮影  
国家安全保障担当の長島昭久首相補佐官が毎日新聞のインタビューで防衛関連予算の引き上げに言及。

## 長島補佐官

# 防衛費2%超へ「議論必要」

## 首相訪米は来年2月以降

国家安全保障を担当する長島昭久首相補佐官が4日、毎日新聞のインタビューに応じた。2027年度までに国内総生産(GDP)比2%に引き上げる防衛関連予算について、「安全保障の状況によってはもっと増額していく議論が必要になる。テーブルからは全く排除しない」と述べ、防衛予算の更なる引き上げに向けた議論を促した。

組みや、日米韓、日米豪、日米比などの枠組みをきっちり引き継いでほしいと伝えた。トランプ氏に近い人とは、抑止力強化や同志国との重層的な連携が非常に重要だという認識で一致できた」と明らかにした。

石破茂首相の訪米の時期については、25年度予算案を審議する予算委員会の審議が一巡する来年2月上旬以降になるとの見方を示し、「国会の許す時期を探らないといけない」と述べるにとどめた。

長島氏は11月下旬、米ワシントンを訪問し、駐日大使経験者でトランプ次期大統領に近いハガティ上院議員らと会談した。「私からは日本の防衛力強化の取り

トランプ氏は同盟国に更なる防衛費増を要求する恐れがあるが、「受け身で、トランプ氏から提案されたからやる」という問題ではない。日本側の政策をまとめる方がはるかに大事だ」と指摘。GDP比2%の防衛予算の目安について「2%で固定して考える問題ではない。日本がもっと頑

トランプ氏に関しては、「関税の問題も注視する必要がある」との見方を示し、「米国の安全など他の政策目的を達成するためのテコに利用している」との見方が

【村尾哲】



インタビューに答える長島昭久首相補佐官。首相官邸で4日、官本明登撮影